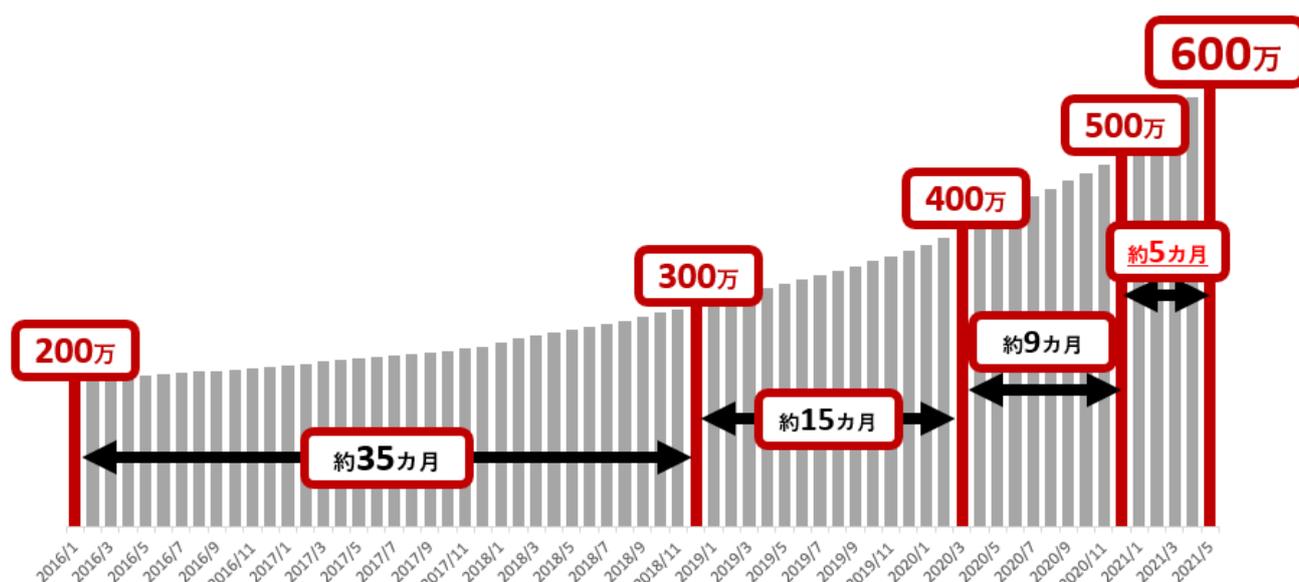


楽天証券、証券総合口座 600 万口座達成のお知らせ

- 過去最短、約 5 カ月で 100 万口座増！抽選で合計 600 万ポイントなどプレゼント -

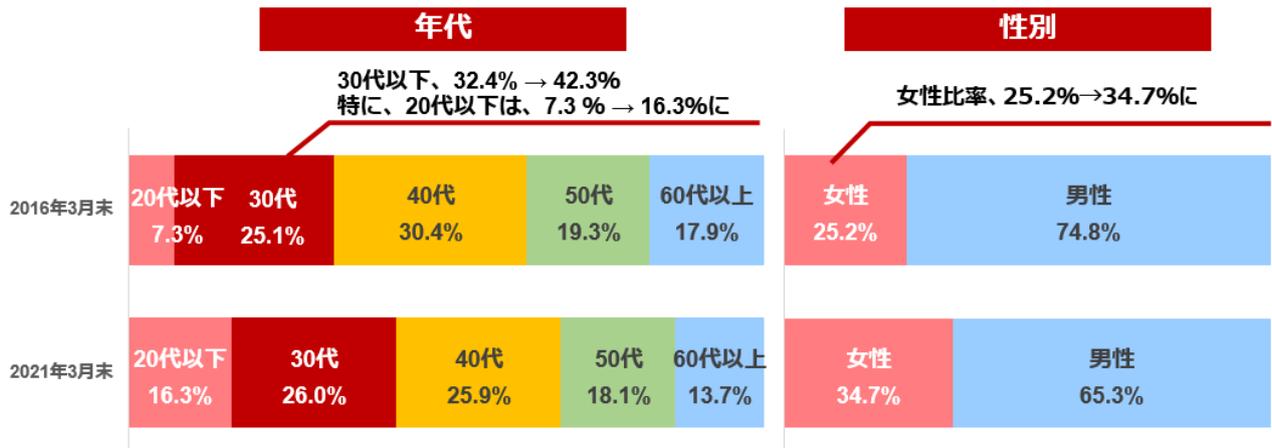
楽天証券株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：楠 雄治、以下「楽天証券」）は、このたび、証券総合口座数が 600 万口座に到達したことをお知らせします。2020 年 12 月に約 9 カ月で 100 万口座増となる 500 万口座に到達してから、さらに加速し、過去最短の約 5 カ月で 100 万口座増となりました。加えて、投資信託の積立において、2021 年 3 月末時点で設定人数が **133 万人**に、積立設定金額が月額約 **450 億円**（前年同期比 **164.8%増**）になったことをあわせてお知らせします。また、このたびの 600 万口座達成を記念して、抽選で合計 600 万ポイントやヴィッセル神戸・楽天イーグルスのオリジナルグッズなどをプレゼントするキャンペーンを実施します。



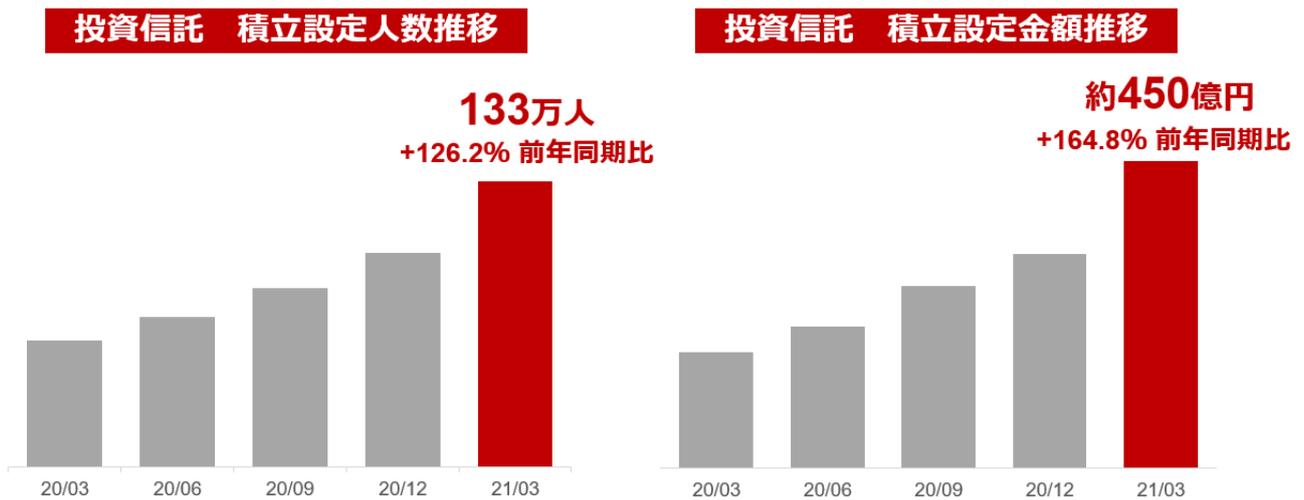
楽天証券は、1999 年に日本で初めてオンライン専門の証券会社としてサービスを開始して以来、“すべては個人投資家のために”をモットーに、社員一同、サービスの拡充に努めております。

近年は、楽天グループの一員として、「楽天エコシステム（経済圏）」の強みを最大限に活かし、投資初心者の方にもご利用いただきやすいサービス提供に尽力しており、2020 年の新規口座開設数は 3 年連続で業界最多^{*1}となりました。特に、「楽天ポイント」で投資信託（通常・積立）や国内株式、バイナリーオプション取引ができる「ポイント投資」サービス、「楽天カード」の 1%ポイント還元を受けながら投信積立ができるサービスなどの拡充を行った結果、2016 年 3 月末には証券総合口座全体の 32.5%だった 30 代以下のお客様が、5 年で **42.3%**（2021 年 3 月末時点）に増加しています。加えて、2021 年 3 月末時点で、投資信託の積立設定人数は **133 万人**に、積立設定金額は前年同期比 **164.8%増**となる月額約 **450 億円**になるなど、多くの資産形成層の方に楽天証券をご活用いただいています。

■ 楽天証券総合口座開設者の属性変化



■ 投資信託 積立設定人数、金額推移



※1：主要ネット証券（口座数上位5社：auカブコム証券、SBI証券、松井証券、マネックス証券、楽天証券（五十音順））で比較（2021年5月19日、楽天証券調べ）

※2：各社ホームページ上での公開情報により、楽天証券にて集計。野村証券、大和証券は残あり顧客口座数、SMBC日興証券は総合口座数

以上

【手数料等およびリスクの説明について】

楽天証券の取扱商品等にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。各商品等へのご投資にかかる手数料等およびリスクについては、楽天証券ホームページの「投資にかかる手数料等およびリスク」ページに記載されている内容や契約締結前交付書面等をよくお読みになり、内容について十分にご理解ください。

商号等：楽天証券株式会社（[楽天証券ホームページ](#)）

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第 195 号、商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会